

施策評価管理シート

施策体系	政 策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	2017(平成29)年6月作成	
	基本施策	3	安全で安心なまちづくり	担当部局(室)名	部局長名
	施 策	2	防犯・交通安全	危機管理室	岩崎 壽久

1. 施策の基本方針 Plan

- 地域ぐるみで健全な生活環境の形成や防犯活動に取り組みます。
- 家庭、学校、地域間の連携を強化して、青少年の非行防止に取り組みます。
- 消費生活に関する啓発や相談体制の充実、消費者団体の支援に取り組みます。
- 人命尊重と市民生活における安全の確保を基本とした快適な交通環境を整備するとともに、市民の交通安全に対する意識の向上を図ります。
- 通学路の安全確保のため、名張市通学路交通安全プログラムに基づく合同点検による要対策箇所に対して、交通安全施設等の整備を進めます。

2. 現状と課題 Plan

- 住民間のつながりが希薄化したことで犯罪が発生しやすくなったり、発生した犯罪の覚知が遅延したりする傾向にあります。
- 青少年の非行防止については、小さな芽を摘み取り拡大を防ぐ必要があるため、平常時であっても的確な情報を収集できる市民ネットワークが必要です。
- 消費生活に関わる相談が増加傾向にあり、その内容もデジタルコンテンツ関係等、多様化かつ巧妙化しています。
- 振り込め詐欺等の特殊犯罪の被害が、高齢者を中心に発生しています。
- 安全・安心なまちづくりを推進するために、交通ルールの遵守や交通マナーの向上に向け、地域と連携して継続的な交通安全啓発活動に取り組む必要があります。
- 名張市通学路交通安全プログラムに基づく定期的な点検により、交通安全施設の補修・修繕箇所を整理しきめ細かな対策が期待されるものの、地域・関係者との調整に期間を要し効果の発現が遅れることもあることから地域や関係者と連携した取組がより一層求められます。またこうした施策を講じるにたる財源の確保が課題となっています。

○施策指標(目標)及び達成状況 Plan Do

施策指標(目標)の内容 (単位)		現状値 (H26)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	進捗率
犯罪に対して不安感を持っている市民の割合 (%)	目標	-	-	-	46.0	
	成果	49.9	59.4			0.0%
刑法犯認知件数 (件)	目標	-	-	-	450	
	成果	475	399			100.0%
交通安全啓発活動等への参加人数 (人)	目標	-	-	-	950	
	成果	921	935			48.3%

3. 課題解決への取組内容(平成28年度) Plan Do

計 画	実績及び主な成果
・犯罪のない社会の実現を目指し、名張警察署との連携を強化して効率的な事業展開が実施できるよう検討します。 ・名張少年サポートふれあい隊活動を通じて参加者の資質を高め、地域や各種団体の活動に還元します。 ・名張消費者被害防止ネットワークの結束を一層強固なものとし、青少年や乳幼児に関わる被害及び事故の防止対策に取り組みます。 ・交通安全指導者を養成し、高齢者、子どもへの交通安全教育を推進します。 ・地域から要望を受けた交通安全施設整備について、必要性を検討の上、名張警察署と連携して対応に努めます。	・生活安全推進協議会防犯部会により、住民への街頭啓発やイベント時の街頭警戒を実施しました。また、テロ対策・名張青山地区パートナーシップではテロの未然防止を目的に官民一体となり情報共有を行いました。 ・名張少年サポートふれあい隊を組織し、「愛の一声運動」による街頭活動を行いました。活動実績は隊員145名、10班集体でパトロールを月1回程度実施。パトロール回数は延べ103回、パトロール参加人数は延べ814人。 ・名張消費者被害防止ネットワーク・プロジェクト参画団体に緊急情報をFAXで発信、防災ホットメール、FMなびり割り込み放送を実施しました。(18回) ・名張消費者被害防止ネットワーク・プロジェクト意見交換会を2回実施しました。 ・FM定時放送で消費者啓発45回実施しました。(内還付金詐欺啓発内容15回) ・大型商業施設における交通安全フェスタの開催や四季の交通安全運動期間における出動式、街頭啓発、ミルミルウェブの実施等により、市民の交通安全意識の高揚を図りました。 ・生活安全推進協議会交通安全部会及び各小学校PTA等に対して研修会を開催することにより、交通安全指導者の育成を図りました。 ・名張市通学路交通安全プログラムに基づく、学校、PTA、地域組織、道路管理者(三重県&名張市)、名張警察署(交通課)等を交えた定期的な点検により、交通安全施設の補修・修繕箇所を整理し、通学路の安全確保を図りました。 ・道路反射鏡の設置8基、補修9基、区画線の補修1900m、ガードレールの設置20m等を実施しました。

4. 成果を踏まえた課題や現状



- ・本市では刑法犯認知件数が低下しているものの、全国で発生している多くの犯罪情報により住民の不安感が高まっています。
- ・青少年の非行件数は、ここ数年減少傾向にありますが、青少年を狙う不審者が問題となっています。
- ・各種交通安全啓発活動を実施しているものの、本年の総交通事故件数は昨年と比較して微増しています。
- ・名張市通学路交通安全プログラムに基づく合同点検により通学路の交通安全施設の補修・修繕箇所は発見され、通学路の安全確保を図るロードマップは整理されますが、これら全てを補修・修繕することは予算的に困難であることから優先順位を付けざるを得ないことが課題となります。

5. 課題解決への取組内容（平成29年度）



- ・地域における防犯意識を高めるとともに、犯罪のない安全・安心なまちづくりを推進するため、関係各機関との連携により取組を進めます。
- ・名張少年サポートふれあい隊、市青少年補導センター、警察、学校等関係機関との間での情報共有や連携を強化していきます。
- ・名張消費者被害防止ネットワーク・プロジェクト参画団体の拡充に努めます。
- ・啓発活動の実施等により市民一人ひとりの交通安全意識を高めるとともに、名張市通学路交通安全プログラムに基づく関係組織との定期的な合同点検により整理された補修・修繕箇所をその優先順位に沿って着実に実施すること。また、地域からの交通安全要望についても関係各機関と連携しながら対処することとします。

6. 行政評価委員会による総合評価



各関係機関と連携し、取組を進めること。また、8・3運動など地域主体の子どもを見守る防犯活動について、全市的に取組を展開すること。